

第 14 回 日本腎病理協会研究会プログラム

14 th Annual meeting of Japanese Society of Renal Pathology.

開催日:平成 28 年 1 月 9 日(土), 10 日(日)

場 所: 慶應義塾大学医学部 東校舎講堂 (東京都新宿区信濃町 35)

当番世話人:清水 章(日本医科大学 解析人体病理学)

研究会参加費: 5,000 円

懇親会 (1 日目)参加費: 1,000 円

診断腎病理セミナー参加費: 5,000 円 (日本腎病理協会会員)

10,000 円 (日本腎病理協会非会員)

テーマ「実践診断腎病理学の研鑽」

平成 28 年 1 月 9 日(土)第 1 日目 (セミナー参加受付は 9 時 00 分より, 研究会受付は 11 時より
慶應義塾大学医学部 東校舎講堂前にて)

10:00-12:00 若手医師のための診断腎病理セミナー (1) (セミナー受講者のみ)

実際の腎生検をどのように見ていくの

司会: 清水 章, 長濱清隆 (日本医科大学解析人体病理学)

(1) 染色と顕微鏡診断: 清水 章 (日本医科大学 解析人体病理学)

(2) 蛍光抗体法診断: 小川弥生 (NPO 法人北海道腎病理センター)

(3) 電顕診断: 串田吉生 (香川大学医学部附属病院 病理部)

質問 (20 分)

世話人会:11:10~ (会議室)

12:00-13:00

共催 ランチョンセミナー 1 (共催: ノバルティスファーマ株式会社)

座長: 杉崎祐一 (日本医科大学名誉教授)

演者: 桑名正隆 先生 (日本医科大学 アレルギー-膠原病内科学)

演題名: 膠原病における自己抗体の臨床的意義

13:00-13:30

日本腎病理協会総会(会員のみ)

日本腎病理協会研究会

開会の挨拶: 13:30 清水章(第14回日本腎病理協会研究会会長)

13:30-15:00

1. 第58回日本腎臓学会コンサルテーション症例の臨床病理検討

司会: 小池淳樹(川崎市立多摩病院 病理診断科)
橋口明典(慶應義塾大学医学部 病理学教室)

症例1) 8年の経過を有し腎機能の緩徐な低下を伴う膜性腎症様腎疾患の若年成人女性例
病理コメント: 長濱清隆(日本医科大学 解析人体病理学)

症例2) 1年前に指摘された尿所見異常の経過中にHUS様所見を呈した症例
病理コメント: 伊丹弘恵(奈良県立医科大学 病理診断学講座)

症例3) 血清C3低値を伴い膜性腎症様の糸球体病変を呈したネフローゼ症候群の症例
病理コメント: 辻 隆裕(市立札幌病院 病理診断科)

休憩(10分)

15:10-17:50

2. ここが難しいよ 腎生検

司会: 富田茂樹(順天堂大学医学部附属浦安病院 病理診断科)
上杉憲子(筑波大学 医学医療系 腎血管病理)

演者:

(1) Dense Deposit DiseaseとMPGN type 3 (Streife and Anders type)
城 謙輔(東北大学大学院・医科学専攻・病理病態学講座 病理診断学分野)

(2) 二次性 FSGS
本田一穂(昭和大学医学部 顕微解剖学)

(3) ANCA関連血管炎
清水 章(日本医科大学 解析人体病理学)

(4) 薬剤関連腎障害
長濱清隆(日本医科大学 解析人体病理学)

(5) 臨床会員から
相馬淳(岩手県立中央病院 腎臓内科)

休憩(20分)

17:10-17:50

3. 話題提供

司会: 深澤雄一郎(市立札幌病院 病理診断科)
久野 敏(福岡大学医学部 病理)

演者:

(1) 腎生検血管極部病変の提言
山口 裕(山口組織病理研究所)

(2) 移植腎の Banff 2015 会議報告
原 重雄(神戸大学医学部附属病院 病理診断科)

17:50-18:20

4. 腎病理アトラス改訂版にむけて

司会: 上田善彦(獨協医科大学越谷病院 病理診断科)
岡 一雅(兵庫県立西宮病院 病理診断科)

演者:

(1) 日本の腎生検診断の現状(日本腎臓学会評議員へのアンケートから)
原 重雄(神戸大学医学部附属病院 病理診断科)

(2) 腎病理アトラス改訂版の説明
長田道夫(筑波大学 医学医療系 腎血管病理)

懇親会 慶應大学食堂(18:30-20:00)(会費:1000円)

平成 27 年 1 月 10 日(日) 第 2 日目

8:30 - 9:50

1. The Robert H. Heptinstall Lifetime Achievement Award 受賞記念講演

司会: 長田道夫 (筑波大学 医学医療系 腎血管病理)
江原孝史 (松本大学 人間健康学部 スポーツ健康学科)

演者:

- 1) 山中宣昭 「上を向いて歩こう」
- 2) 重松秀一 「ふえる腎炎、とける腎炎」

休憩(10分)

10:00-12:45

2. 特別セミナー 2「腎疾患の補体活性化を考える」(共催: アレクシオン ファーマ)

司会: 長田道夫 (筑波大学 医学医療系 腎血管病理)
清水 章 (日本医科大学 解析人体病理学)

演者:

- 1) 水野 正司 先生 (名古屋大学 腎臓内科)
- 2) 加藤 秀樹 先生 (東京大学 腎臓内科)
- 3) 大塚 泰史 先生 (佐賀大学 小児科)
- 4) 三井 亜希子 先生 (日本医科大学 腎臓内科)
- 5) 井藤 奈央子 先生 (筑波大学 腎・血管病理学)

12:45-13:45 共催 ランチョンセミナー 2 (共催:中外製薬株式会社)

司会: 山中宣昭 (東京腎臓研究所, 日本医科大学名誉教授)

演者: 鶴岡秀一 先生 (日本医科大学 腎臓内科学)

演題名: 集合管細胞における酸排泄調節機構

13:45-13:50

3. 次年度研究会のアナウンス 北村 博司 (国立病院機構千葉東病院 臨床病理診断部)

13:50

4. 閉会のあいさつ 清水章 (日本医科大学 解析人体病理学)
記念写真撮影

5. 14:10-17:00 若手医師のための診断腎病理セミナー (2) (セミナー受講者のみ)

実際の腎生検をどのように見ていくの

司会: 大橋健一 (横浜市立大学医学部・大学院医学研究科 病態病理学教室),
橋口明典 (慶應義塾大学医学部 病理学教室)

- (4) 糸球体病変: 北村博司 (国立病院機構千葉東病院 臨床病理診断部)
- (5) 膜性増殖性糸球体病変: 本田一穂 (昭和大学医学部 顕微解剖学)
- (6) 尿細管間質病変: 大橋隆治 (日本医科大学付属病院 病理診断科)
- (7) 血管病変: 長濱清隆 (日本医科大学 解析人体病理学)
- (8) 移植腎病理: 小池淳樹 (川崎市立多摩病院 病理診断科)

質問 (20分)

適宜解散・閉場 (-17:00)



Japanese Renal
Pathology Society

会場図

※現在、新病棟建築工事中ですので、病院内からの通り抜けはできません。
 ※正門を向かって右に進み、東門から入ることをお勧めします。

